

ぼくの知らない世界

福島県 会津坂下町立坂下東小学校三年 畑中 俐人

「えっ!!二百五十倍!?」
けんびきょうを見つけた時思わず声に出してしまいました。目でみえているものが二百五十倍になったらどんな風に見えるんだろう?ぼくはワクワクして、すぐにこのけんびきょうで色んなものをみてみたくなりました。

けんびきょうは、下から光を当てる『どうか』と上から光を当てる『落しや』の二しゅるいのかんさつほうがありました。

ぼくのじいちゃんとはあちゃんの家で育てている、ミニトマト、オクラ、タマネギなど十一しゅるいをもらってかんさつすることにしました。どうかは、スライドガラスとカバーガラスの間にうすくカットしたものと、水一てきをはさんで、プレパラートというものを作ってかんさつします。五日間で五十七まいのプレパラートを作りました。作る時、カット

したいものを左手でおさえ、左手の指先のスレスレを、右手で持った、よく切れるカッターで引いてうすくカットするので、自分の手を切ってしまったわいかハラハラしました。カバーガラスをかぶせる時、空気や水の入ってしまった、何度もやり直しました。「これでじゅんびばんたん!!やつとかんさつできる」と思ったらそうさがむずかしかったので、また時間がかかってしまいました。ぼくはウイंकができなかつたので、左手で左目をおさえ、右手でピントを合わせながら、プレパラートも動かしました。少し動かしただけで大きくずれてしまったり、上下左右が反対に動いてしまって、自分のみたくところに合わせて動かなくてむずむずしました。でも、少しずつなれて、ちよっぴり研究者気分になれたのでうれしかったです。

けんびきょうをのぞくと、野さいたちがなぜかふ

じ山、日本地図、人の顔、火星や金星にみえたりしました。葉のうらからは、水を調整している『気こ』というあなもみられました。図かんで調べていたら、植物もぼくたちと同じ『こきゅう』をしていることが分かった時は、とってもおどろきました。他にも色んなものをみてみたい!知りたい!と着ていたTシャツをけんびきょうでのぞいたら、

「おう!!なんだこれ!」

ぼくの目が二倍大きくなったような気がしました。想ぞうしていなかったものがみられたからです。何かにているような...

「そうだ、春雨サラダだ!!」

細い横とたての糸でおられているのがみられて、一本一本が太くキラキラしていました。

けんびきょうでみる世界は、今までみたことがない、目ではみられないおもしろさと、ふしぎの世界が広がっていました。五百倍、もっと大きい千倍だったらどんな風に見えるんだろう?どんな新しいものが発見できるんだろう?と考えただけで、ぼくの夢がどんどんふくらみます。ぼくの知らないけんびきょうの世界をもっとみつづけたいと思います。

